

矢作建設グループ 中期経営計画 (2021年度～2025年度)

1. 前中期経営計画の振り返り
2. 10年後の目指す姿と中期経営計画の位置付け
3. 事業方針
4. 数値目標・配当方針
5. 投資計画

2021年5月10日

1. 前中期経営計画（2018年度～2020年度）の振り返り

前中期経営計画 事業方針

- 建設エンジニアリング能力の更なる向上
- 経営環境の変化に耐えうる事業ポートフォリオの追求
- 生産性向上と就業環境整備両面からの「働き方改革」の推進

前中期経営計画の総括

事業方針に基づく取組みを推進してきた結果、

- ・ 建設事業においては、大型物流施設や大型造成工事の受注をはじめ、新規顧客の開拓や事業エリアの拡大により、建築、土木ともに事業規模が拡大。
- ・ 不動産事業においては、自社開発の大規模工業団地の販売が進捗したことに加え、新たな産業用地開発も順調に進捗。
- ・ 上記の結果、建築、土木、不動産のバランスの取れた事業ポートフォリオが定着。
- ・ 業績は売上、利益ともに過去最高水準に伸長し、目標を達成。
- ・ ROEは2020年度は目標未達となったが、期間全体では目標を概ね達成。

■ 連結経営成績

(単位：百万円)

	前中期経営計画期間			
	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2020年度 目標
売上高	92,754	90,129	106,615	100,000
建築事業	48,394	44,263	58,635	
土木事業	29,564	29,618	33,771	
不動産事業	14,796	16,247	14,208	
売上総利益	16,509	16,300	15,699	
建築事業	6,325	6,360	5,929	
土木事業	5,412	5,097	5,760	
不動産事業	4,770	4,842	4,009	
営業利益	7,705	7,764	7,362	7,000
ROE	9.5%	10.2%	6.2%	8%以上

2. 10年後の目指す姿と中期経営計画の位置付け

当社グループが持続的成長をしていくために、10年後の目指す姿を設定。

本中期経営計画期間（2021～2025年度）は、10年後の目指す姿に向けて、加速度的に成長するための基盤を構築する期間と位置付ける。

今後の市場環境認識

コロナ禍による産業構造やビジネスモデルの転換に加え、社会の価値観は経済性重視からサステナビリティ重視へ転換。今後は社会価値と企業価値の両方を創出しつつ、事業モデルを持続可能なものに高めていくことが求められる。

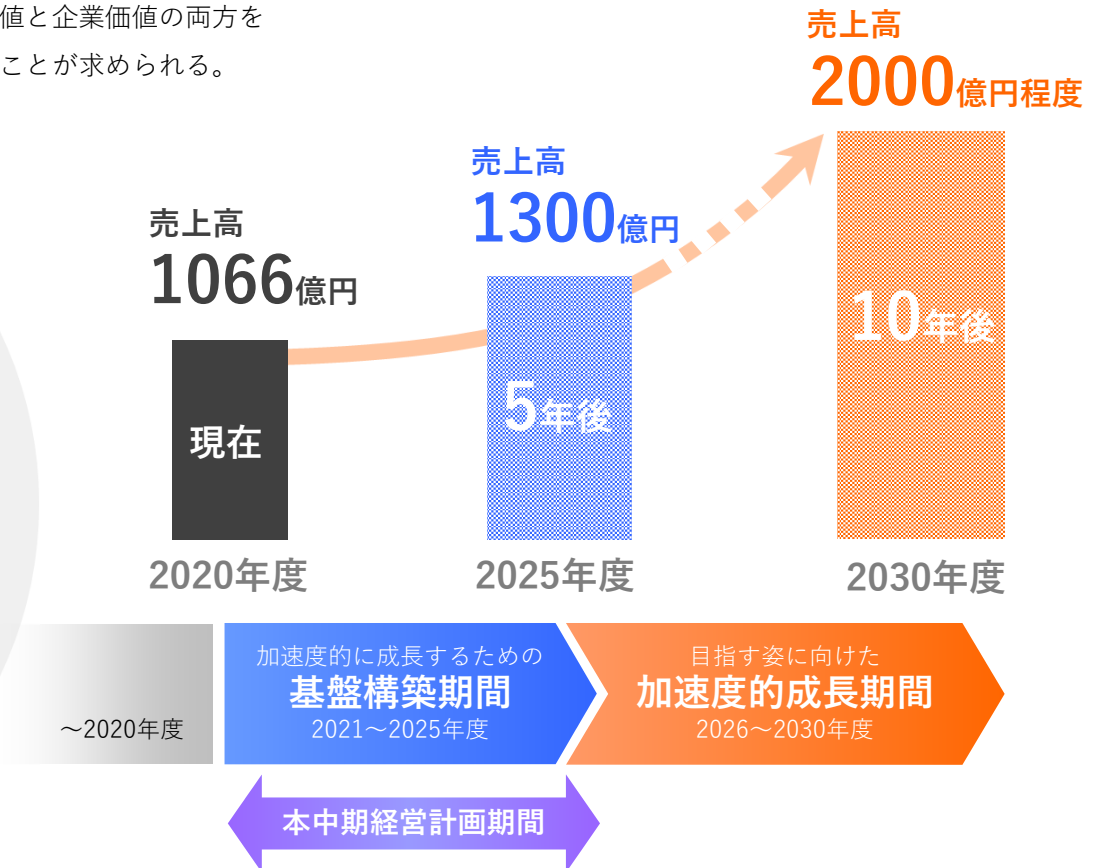
10年後の目指す姿

「課題解決&価値創造型企業」

顧客や地域が抱える課題を解決するだけにとどまらず、より良い社会を実現するために建設エンジニアリングによる新たな価値を創造・提供することで、顧客・地域、そして社会の持続的発展に貢献する企業。

東海圏にとどまらずリニア経済圏への事業拡大を図り、そのなかの特定の顧客・分野で強力な競争力を有する企業。

売上規模としては、2000億円程度を目指す。



3. 事業方針

本中期経営計画では、以下の事業方針を掲げ、既存事業の深化・進化と新規分野・領域の探索・開拓を両立推進し、次の5年間で加速度的に成長するための基盤を構築する。

～ 課題解決 & 価値創造型企業への変革 ～

加速度的成長に向けた「つくる（造る・創る）力の増強」と持続的成長への基盤構築

- 既存事業の深化・進化
- 新規分野・領域の探索・開拓
- 成長を支える経営基盤の確立

①
事業規模拡大に向けた
生産体制の強化

②
生産性を向上させる
建設生産プロセスの改革

③
企画提案力の強化/
プロジェクト推進力の強化

④
新規技術・サービスの開発
/技術・ノウハウの習得

⑤
事業エリアの拡大
/対象分野の拡張

⑥
様々なパートナーとの
価値共創

⑦
安全・品質レベルの向上
と管理体制の強化

⑧
魅力的で働きがいのある
職場環境の整備

⑨
SDGsへの取組み推進
(SDGs宣言)

4. 数値目標・配当方針

◆ 数値目標（連結）

	2020年度 実績	2025年度 目標
売上高	1066億円	1300億円
営業利益	73億円	100億円

◆ 配当方針


- 連結業績や財務状況を勘案しながら、継続的かつ安定的な株主還元を実施
- **配当性向 30%以上** を目標
- 自己株式の取得は成長投資の状況及び市場動向などに鑑み、必要に応じて臨機応変に実施を検討

	前中期経営計画期間			本中期経営計画期間
	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 ~ 2025年度 目標
年間配当	28円	34円※	34円	配当性向 30%以上
配当性向	27.1%	28.6%	44.8%	

※ 創立70周年記念配当4円を含む

5. 投資計画

- 10年後の目指す姿の実現に向けた基盤構築のための成長投資を実施
- **5年間で約300億円**の成長投資を計画

	前中期経営計画期間			本中期経営計画期間
	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 ~ 2025年度 計画
成長投資	75億円	51億円	34億円	約300億円 ・不動産投資 ・研究開発投資 ・人財投資 ・情報化投資
	(3年間) 160億円			
	53億円/年			60億円/年



 **矢作建設工業株式会社**
YAHAGI

本資料記載の将来に関する一切の記載内容は、発表日現在において入手可能な情報に基づき推計したものであり、実際には様々な要因により予想と異なる結果になる可能性があることをご承知おきください。